

日本在来家畜調査団報告 第1号

目

次

I. まえがき	1
II. わが国における在来家畜研究の歴史	3
III. 第1回調査(1961年)トカラ・奄美両群島	9
A. 調査の概要	9
B. 調査結果	12
1. トカラ・奄美両群島における馬	12
2. トカラ・奄美両群島における山羊	16
3. トカラ群島における牛	24
4. トカラ・奄美両群島における豚	29
5. トカラ群島先史時代の様相と出土猪骨について	31
6. トカラ群島における鷄	33
7. トカラ鷄における椎骨数と椎骨の区分および神経叢について	37
8. トカラ鷄と白色レグホーン種との血清生物学的関係	53
9. トカラ群島宝島住民の婚姻調査	55
IV. 第2回調査(1962年)長崎県下各離島	58
A. 調査の概要	58
B. 調査結果	60
1. 対馬における馬	60
2. 五島列島、長崎県西海岸および壱岐における山羊	64
V. 第3回調査(1963年)種子島、屋久島および上三島	71
A. 調査の概要	71
B. 調査結果	73
1. 三島村および種子・屋久両島における山羊	73
2. 種子・屋久両島における馬	79
VI. これまでの調査によって得られた知見の総括 English Summary	81
VII. わが国における在来家畜の保存に対する所見	85
VIII. あとがき	86
IX. 文献表	88